

発 刊 に 寄 せ て

昨年、3月11日の東日本大震災では、甚大な被害が報道される中、学校の児童生徒が津波の被害を免れた「釜石市」の事例には特筆すべきものがありました。先人の教えや過去の震災の教訓により、津波被害を想定し防災教育に関する研究を重ね、学校と地域が一体となり長期的に実践に取り組んだ成果が如実に現れたと言えます。

本県では、昨年度末、県政推進の基本理念となる「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」の実現に向け、教育分野では、「静岡県教育振興基本計画『有徳の人』づくりアクションプラン」を策定しました。また、同時に改訂された「静岡県教職員研修指針」の下、「有徳の人」の育成を目指しています。

本センターの使命は、これからの社会を担う子どもたちの「確かな学力」と「豊かな人間性」を育み、「有徳の人」への成長を支えていく学校や教職員を支援していくことにあります。

静岡県教育委員会事務局等組織再編から3年間が経過した現在、研究・研修・指導（訪問）のつながりや指導の系統性・連続性を重視する中、「教職員一人一人」と「学校全体」への支援の充実を図ることがますます重要になっております。支援のベースとなるものは、確かな現状把握と分析により浮かび上がる様々な教育課題の解決に向けた研究です。各分野で、指導の具体的な内容や方法等に係る先進的研究を進め、その成果の検証をしながら、学校や教職員に還元することがセンターの果たすべき役割であると考えております。

本年度も、研究のほかに、実践報告等を掲載し、本センターにおける取組を広くお伝えしております。

是非御一読の上、忌憚のない御意見・御感想をお寄せいただければ幸いです。

結びに、研究に際して、御協力をいただきました学校及び関係教育機関の方々にお礼申し上げます。

平成24年3月

静岡県総合教育センター
所 長 三ッ谷 三善